

「認知症に関する世論調査」の概要

内閣府政府広報室

- 1 調査目的 認知症に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 2 調査項目 (1) 認知症の人と接する機会の有無
(2) 認知症に対するイメージ
(3) 認知症になった場合の暮らし
(4) 認知症に対する不安（本人自身）
(5) 認知症に対する不安（家族）
(6) 国や自治体に求める認知症施策
- 3 関係省庁 厚生労働省
- 4 調査対象 (1) 母集団 全国20歳以上の日本国籍を有する者
(2) 標本数 3,000人
(3) 抽出方法 層化2段無作為抽出法
- 5 調査時期 平成27年9月3日～9月13日
- 6 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- 7 調査実施機関 一般社団法人 新情報センター
- 8 回収結果 (1) 有効回収数(率) 1,682人(56.1%)
(2) 調査不能数(率) 1,318人(43.9%)
－不能内訳－
転居 116 長期不在 67 一時不在 525
住所不明 30 拒否 522 被災 0
その他 58
(病気など)

9 性・年齢別回収結果

性・年齢		標本数	回収数	回収率	性・年齢		標本数	回収数	回収率
				%					%
男 性	20～29歳	162	56	34.6	女 性	20～29歳	179	83	46.4
	30～39歳	213	92	43.2		30～39歳	205	105	51.2
	40～49歳	290	146	50.3		40～49歳	272	159	58.5
	50～59歳	226	118	52.2		50～59歳	225	137	60.9
	60～69歳	293	189	64.5		60～69歳	315	214	67.9
	70歳以上	279	173	62.0		70歳以上	341	210	61.6
計		1,463	774	52.9	計		1,537	908	59.1

調査結果の概要

1 認知症の人と接する機会の有無

(1) 認知症の人と接する機会の有無

今までに認知症の人と接したことがあるか聞いたところ、「ある」と答えた者の割合が56.4%、「ない」と答えた者の割合が43.3%となっている。

性別に見ると、「ある」と答えた者の割合は女性で、「ない」と答えた者の割合は男性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「ない」と答えた者の割合は70歳以上で高くなっている。(図1, 表1)

図1 認知症の人と接する機会の有無

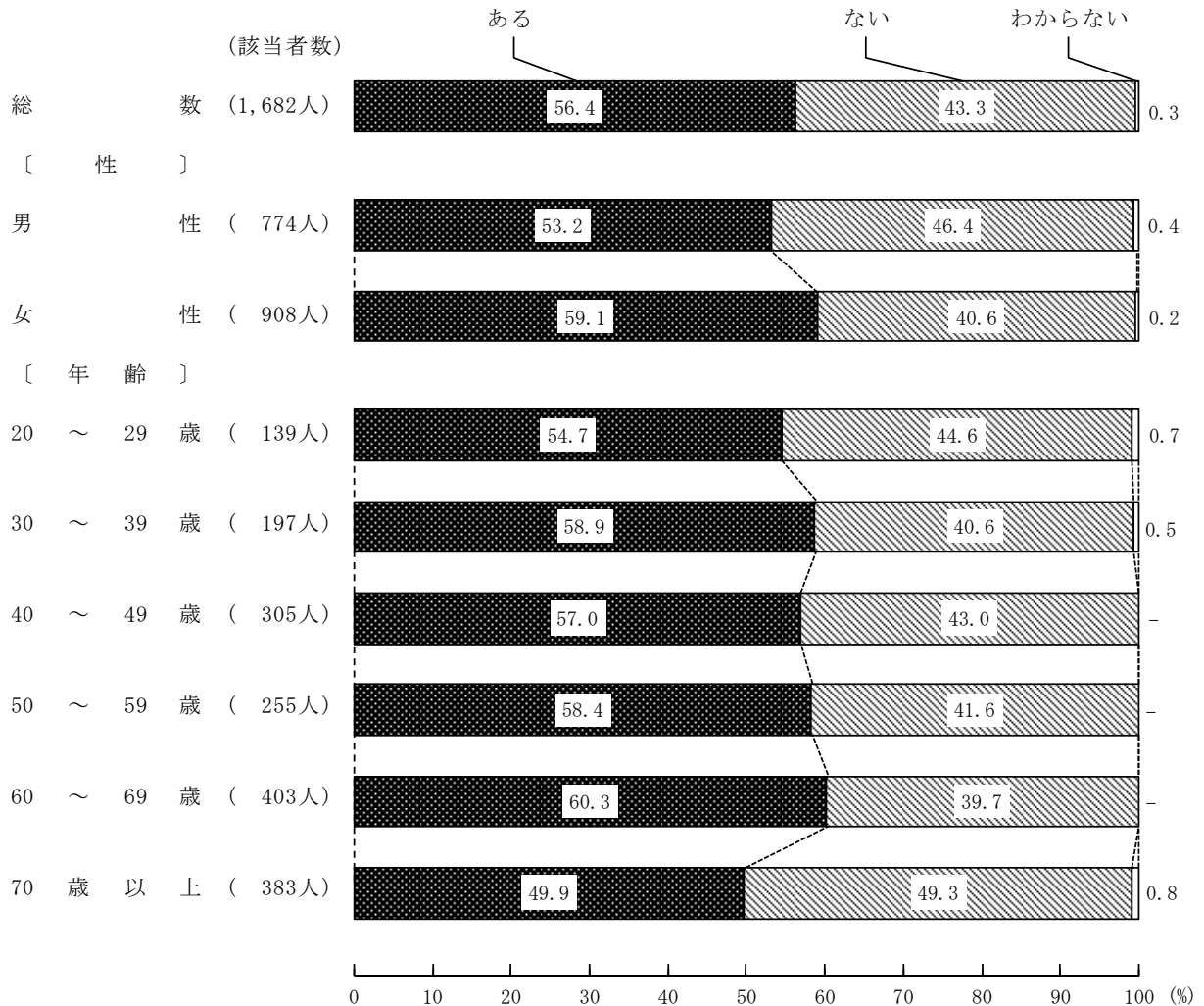


表1 認知症の人と接する機会の有無

	該 当 者 数	あ る	な い	わ か ら な い
	人	%	%	%
総 〔都 市 規 数 模〕 大 都 都 市 部 東 京 都 区 政 令 指 定 都 市 中 都 市 小 都 市 町 都 市 〔 性 〕 男 性 女 性 〔年 齡〕 20 ～ 29 歳 30 ～ 39 歳 40 ～ 49 歳 50 ～ 59 歳 60 ～ 69 歳 70 歳 以 上 〔従 業 上 の 地 位〕 雇 用 者 自 営 業 主 家 族 従 業 者 無 職 婦 夫 主 主 そ の 他 の 無 職 業 〔職 業〕 管 理 ・ 専 門 技 術 ・ 事 務 職 管 理 職 専 門 ・ 技 術 職 事 務 職 販 売 ・ サ ー ビ ス ・ 保 安 職 農 林 漁 業 職 生 産 ・ 輸 送 ・ 建 設 ・ 労 務 職	1,682 392 84 308 698 421 171 774 908 139 197 305 255 403 383 772 191 32 687 382 29 276 400 46 143 211 294 61 240	56.4 55.6 50.0 57.1 55.6 58.2 57.3 53.2 59.1 54.7 58.9 57.0 58.4 60.3 49.9 58.5 64.4 65.6 51.4 53.9 65.5 46.4 59.5 58.7 73.4 50.2 67.3 65.6 50.0	43.3 44.4 50.0 42.9 44.1 41.6 41.5 46.4 40.6 44.6 40.6 43.0 41.6 39.7 49.3 41.5 35.6 34.4 47.9 45.8 34.5 52.2 40.5 41.3 26.6 49.8 32.7 34.4 50.0	0.3 - - - 0.3 0.2 1.2 0.4 0.2 0.7 0.5 - - - 0.8 - - - 0.7 0.3 - 1.4 - - - - - - -

ア 認知症の人と接する機会

今までに認知症の人と接したことが「ある」と答えた者（949人）に、経験したことがあるものを聞いたところ、「家族の中に認知症の人がいる（いた）」を挙げた者の割合が43.5%と最も高く、以下、「親戚の中に認知症の人がいる（いた）」（37.2%）、「近所付き合いの中で、認知症の人と接したことがある」（33.5%）などの順となっている。（複数回答，上位3項目）

（図2，表2）

図2 認知症の人と接する機会

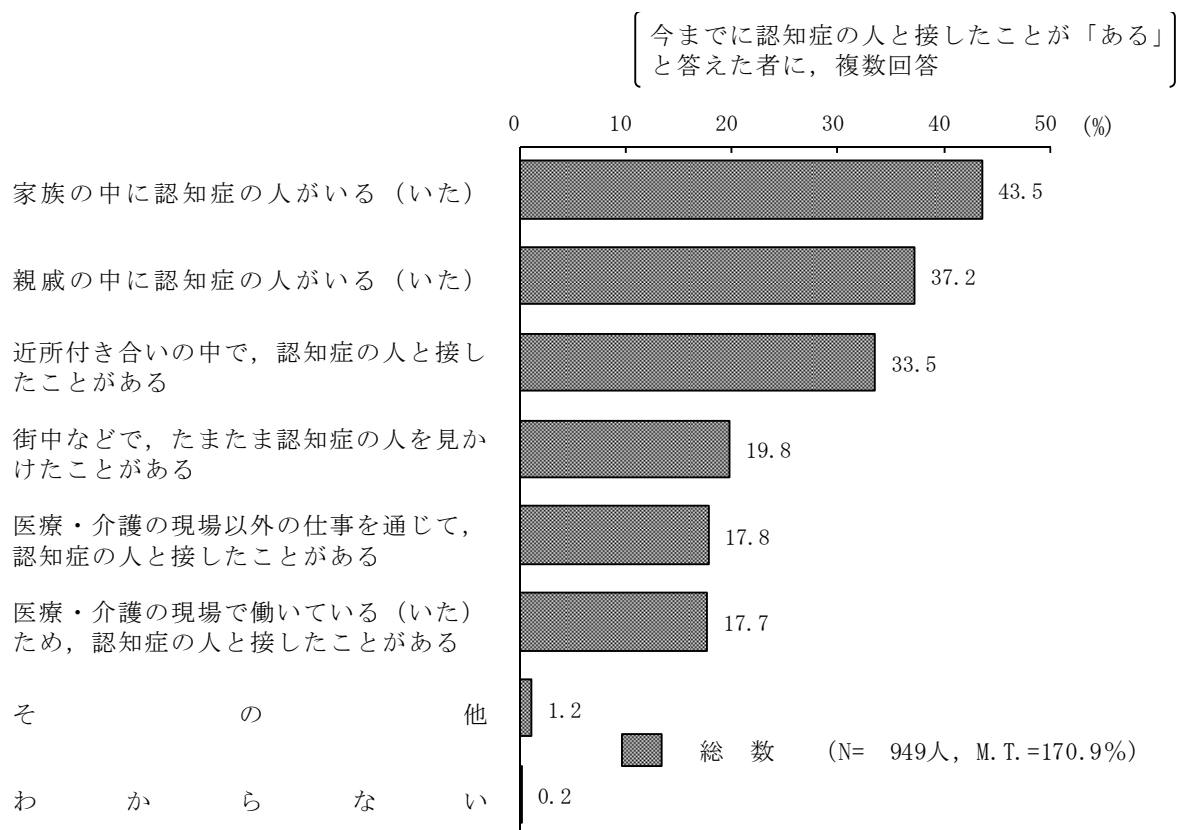


表2 認知症の人と接する機会

(今までに認知症の人と接したことが「ある」と答えた者に、複数回答)

該 当 者 数	家族 の中 に 認知 症の 人が いる (いた)	親 戚の 中 に 認知 症の 人が いる (いた)	近 所 付 き 合 い の 中 で 、 認 知 症 の 人 と 接 し た こ と が あ る	街 中 な ど で 、 た ま た ま 認 知 症 の 人 を 見 か け た こ と が あ る	医 療 ・ 介 護 の 現 場 以 外 の 仕 事 を 通 じ て 、 認 知 症 の 人 と 接 し た こ と が あ る	医 療 ・ 介 護 の 現 場 で 働 い て い る (いた)	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)	
										人
総数	949	43.5	37.2	33.5	19.8	17.8	17.7	1.2	0.2	170.9
[都大東政]	218	38.1	33.5	33.5	19.3	19.7	17.4	1.8	0.9	164.2
市	42	38.1	40.5	28.6	31.0	19.0	11.9	2.4	4.8	176.2
都	176	38.1	31.8	34.7	16.5	19.9	18.8	1.7	-	161.4
指	388	45.6	35.1	32.2	20.4	20.4	18.6	1.3	-	173.5
定	245	44.1	42.0	35.5	22.4	13.1	17.1	0.8	-	175.1
都	98	45.9	41.8	33.7	12.2	15.3	16.3	-	-	165.3
市										
市										
村										
[性]										
男	412	41.3	39.3	32.8	22.8	18.9	11.4	1.2	0.2	168.0
女	537	45.3	35.6	34.1	17.5	16.9	22.5	1.1	0.2	173.2
[年齢]										
20	76	39.5	27.6	23.7	25.0	26.3	34.2	1.3	-	177.6
30	116	44.8	37.9	18.1	14.7	22.4	23.3	1.7	-	162.9
40	174	43.7	37.9	28.2	23.6	16.1	21.3	1.1	-	171.8
50	149	45.6	38.3	35.6	20.8	16.1	14.1	1.3	1.3	173.2
60	243	51.9	37.9	38.7	20.2	18.9	13.6	0.4	-	181.5
70	191	31.9	38.2	43.5	16.2	13.1	12.6	1.6	-	157.1
[職業上の地位]										
従業	452	39.8	36.7	27.2	21.5	22.6	24.6	1.3	0.2	173.9
雇用	123	48.8	43.9	43.9	25.2	19.5	8.9	1.6	-	191.9
自営業	21	61.9	52.4	61.9	38.1	-	-	-	-	214.3
家族	353	45.3	34.6	36.3	14.7	12.2	13.0	0.8	0.3	157.2
無職	206	49.5	30.6	39.8	13.6	9.2	14.6	1.0	0.5	158.7
主婦	19	31.6	21.1	47.4	5.3	15.8	10.5	-	-	131.6
その他	128	40.6	43.0	28.9	18.0	16.4	10.9	0.8	-	158.6
[職業]										
管理・専門技術・事務職	238	40.3	35.3	28.6	24.8	23.9	26.9	2.5	0.4	182.8
管理職	27	51.9	40.7	37.0	22.2	33.3	14.8	3.7	-	203.7
専門・技術職	105	38.1	35.2	27.6	25.7	20.0	42.9	-	-	189.5
事務職	106	39.6	34.0	27.4	24.5	25.5	14.2	4.7	0.9	170.8
販売・サービス・保安職	198	41.4	41.4	34.3	22.2	28.8	24.2	0.5	-	192.9
農林漁業職	40	57.5	45.0	42.5	25.0	5.0	5.0	-	-	180.0
生産・輸送・建設・労務職	120	43.3	39.2	30.8	19.2	8.3	6.7	0.8	-	148.3

2 認知症に対するイメージ

(1) 認知症に対するイメージ

認知症に対してどのようなイメージを持っているか聞いたところ、「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる」と答えた者の割合が 6.8%、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」と答えた者の割合が 33.5%、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」と答えた者の割合が 35.9%、「認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる」と答えた者の割合が 7.6%、「認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう」と答えた者の割合が 10.9%となっている。

性別に見ると、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」と答えた者の割合は女性で、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」と答えた者の割合は男性で、それぞれ高くなっている

年齢別に見ると、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」と答えた者の割合は 30 歳代、50 歳代で、「認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう」と答えた者の割合は 70 歳以上で、それぞれ高くなっている。(図 3, 表 3)

図3 認知症に対するイメージ

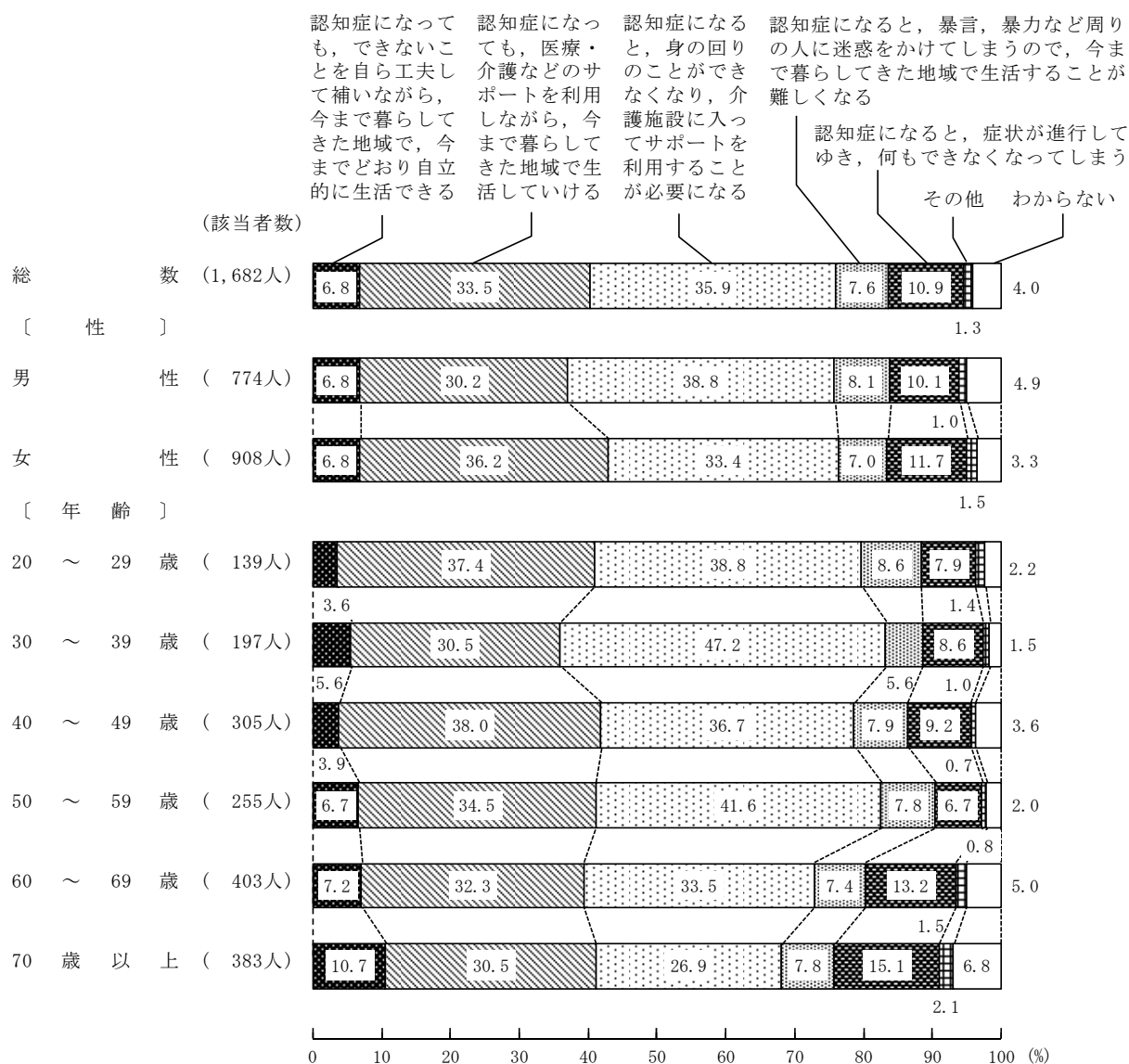


表3 認知症に対するイメージ

	該 当 者 数	で、今までもお り、今までも自 立的に生活でき る	認知症になつて も、医療・介護 などのサポート を利用していか る	認知症になつて も、身の回りの ことができない ことが必要にな る	認知症になると 、暴言、暴力な ど周りの人に 迷惑をかけてし まうので、今ま で暮らしに た地域で生活す ることが難しく なる	認知症になると 、症状が進行し てゆき、何も できなくなつて しまう	そ の 他	わ か ら な い
		人	%	%	%	%	%	%
〔総数〕	1,682	6.8	33.5	35.9	7.6	10.9	1.3	4.0
〔大都市圏〕	392	9.9	29.3	38.5	5.9	12.0	1.0	3.3
〔大東都〕	84	9.5	27.4	39.3	8.3	10.7	2.4	2.4
〔政令指定都市〕	308	10.1	29.9	38.3	5.2	12.3	0.6	3.6
〔中小都市〕	698	6.3	35.2	34.4	8.7	9.9	1.3	4.2
〔小都市〕	421	6.2	34.4	34.0	8.1	11.2	1.2	5.0
〔町〕	171	3.5	33.3	40.4	5.3	12.3	2.3	2.9
〔性別〕								
〔男性〕	774	6.8	30.2	38.8	8.1	10.1	1.0	4.9
〔女性〕	908	6.8	36.2	33.4	7.0	11.7	1.5	3.3
〔年齢〕								
〔20歳～29歳〕	139	3.6	37.4	38.8	8.6	7.9	1.4	2.2
〔30歳～39歳〕	197	5.6	30.5	47.2	5.6	8.6	1.0	1.5
〔40歳～49歳〕	305	3.9	38.0	36.7	7.9	9.2	0.7	3.6
〔50歳～59歳〕	255	6.7	34.5	41.6	7.8	6.7	0.8	2.0
〔60歳～69歳〕	403	7.2	32.3	33.5	7.4	13.2	1.5	5.0
〔70歳以上〕	383	10.7	30.5	26.9	7.8	15.1	2.1	6.8
〔従業上の地位〕								
〔雇用上の地位〕								
〔雇用者〕	772	4.5	37.0	39.5	7.5	7.9	0.6	2.8
〔自営業者〕	191	4.7	31.4	36.6	4.7	14.1	2.6	5.8
〔家族従業者〕	32	6.3	28.1	53.1	3.1	9.4	-	-
〔無職者〕	687	10.0	30.3	30.7	8.6	13.5	1.7	5.1
〔主婦〕	382	9.7	33.5	28.5	8.4	13.9	1.6	4.5
〔主夫〕	29	10.3	27.6	24.1	13.8	17.2	3.4	3.4
〔その他無職者〕	276	10.5	26.1	34.4	8.3	12.7	1.8	6.2
〔職業〕								
〔管理・専門技術・事務職〕	400	4.0	40.0	38.8	5.5	8.0	0.8	3.0
〔管理職〕	46	4.3	30.4	45.7	6.5	10.9	-	2.2
〔専門・技術職〕	143	4.9	47.6	34.3	2.1	7.7	-	3.5
〔専務職〕	211	3.3	37.0	40.3	7.6	7.6	1.4	2.8
〔販売・サービス・保安職〕	294	6.8	33.3	38.1	6.5	10.9	1.4	3.1
〔農林漁業職〕	61	6.6	42.6	32.8	3.3	11.5	1.6	1.6
〔生産・輸送・建設・労務職〕	240	2.5	29.6	43.8	10.4	8.3	0.8	4.6

3 認知症になった場合の暮らし

(1) 認知症になった場合の暮らし

認知症になったとしたら、どのように暮らしたいと思うか聞いたところ、「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい」と答えた者の割合が 13.4%、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」と答えた者の割合が 30.3%、「認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」と答えた者の割合が 20.2%、「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」と答えた者の割合が 27.5%、「認知症になったら、誰にも迷惑をかけないよう、ひとりで暮らしていきたい」と答えた者の割合が 4.6%となっている。

性別に見ると、「認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」と答えた者の割合は女性で高くなっている。

年齢別に見ると、「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」と答えた者の割合は 20 歳代で高くなっている。

(図 4, 表 4)

図 4 認知症になった場合の暮らし

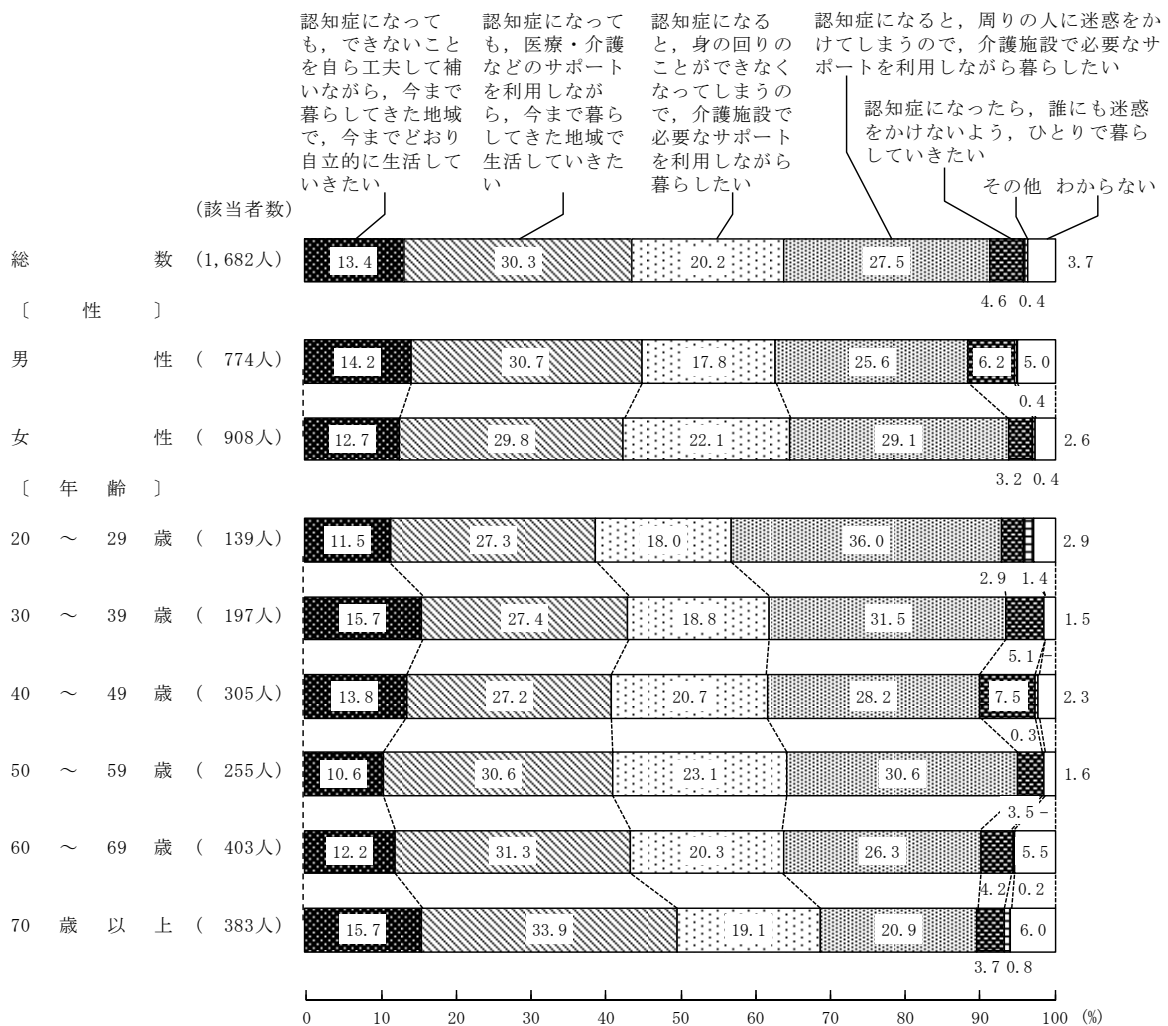


表4 認知症になった場合の暮らし

	該 当 者 数	ど お り 自 立 的 に 生 活 し て い き た い	補 い な が ら 、 今 ま で 暮 ら し て い き た い	認 知 症 に な っ て も 、 医 療 ・ 介 護 な ど の サ ポ ー ト を 利 用 し な が ら 、 今 ま で 暮 ら し て い き た い	認 知 症 に な っ て 、 身 の 回 り の こ と が で き な く な っ て し ま う の で 、 介 護 施 設 で 必 要 な サ ポ ー ト を 利 用 し な が ら 暮 ら し た い	認 知 症 に な る と 、 周 り の 人 に 迷 惑 を か け て し ま う の で 、 介 護 施 設 で 必 要 な サ ポ ー ト を 利 用 し な が ら 暮 ら し た い	認 知 症 に な っ たら 、 誰 に も 迷 惑 を か け な い よ う 、 ひ と り で 暮 ら し て い き た い	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
〔総数〕	1,682	13.4	30.3	20.2	27.5	4.6	0.4	3.7	
〔大都市圏〕	392	15.6	25.5	21.9	26.0	6.6	0.3	4.1	
〔東京都〕	84	17.9	22.6	23.8	27.4	4.8	1.2	2.4	
〔京都市〕	308	14.9	26.3	21.4	25.6	7.1	-	4.5	
〔大阪市〕	698	12.5	30.2	20.8	29.8	3.2	0.7	2.9	
〔中京圏〕	421	12.8	33.5	18.8	24.9	4.5	0.2	5.2	
〔小都市圏〕	171	13.5	33.3	17.0	27.5	5.8	-	2.9	
〔性別〕									
〔男性〕	774	14.2	30.7	17.8	25.6	6.2	0.4	5.0	
〔女性〕	908	12.7	29.8	22.1	29.1	3.2	0.4	2.6	
〔年齢〕									
〔20～29歳〕	139	11.5	27.3	18.0	36.0	2.9	1.4	2.9	
〔30～39歳〕	197	15.7	27.4	18.8	31.5	5.1	-	1.5	
〔40～49歳〕	305	13.8	27.2	20.7	28.2	7.5	0.3	2.3	
〔50～59歳〕	255	10.6	30.6	23.1	30.6	3.5	-	1.6	
〔60～69歳〕	403	12.2	31.3	20.3	26.3	4.2	0.2	5.5	
〔70歳以上〕	383	15.7	33.9	19.1	20.9	3.7	0.8	6.0	
〔従業上の地位〕									
〔雇用者〕	772	13.0	28.8	21.1	28.5	5.8	0.3	2.6	
〔自営業者〕	191	16.2	34.0	19.4	23.0	4.2	-	3.1	
〔家族従業者〕	32	3.1	46.9	21.9	28.1	-	-	-	
〔無職者〕	687	13.5	30.1	19.2	27.5	3.5	0.7	5.4	
〔主婦〕	382	13.6	28.5	20.9	30.6	2.6	0.8	2.9	
〔その他無職者〕	29	17.2	37.9	6.9	20.7	6.9	-	10.3	
〔職業〕	276	13.0	31.5	18.1	23.9	4.3	0.7	8.3	
〔管理・専門技術・事務職〕	400	10.5	30.8	21.5	29.3	5.5	-	2.5	
〔管理職〕	46	8.7	26.1	19.6	39.1	4.3	-	2.2	
〔専門・技術職〕	143	11.2	35.7	21.0	22.4	4.9	-	4.9	
〔事務職〕	211	10.4	28.4	22.3	31.8	6.2	-	0.9	
〔販売・サービス・保安職〕	294	16.7	29.6	18.0	27.6	5.8	-	2.4	
〔農林漁業職〕	61	19.7	41.0	18.0	18.0	-	-	3.3	
〔生産・輸送・建設・労務職〕	240	12.1	27.9	23.8	26.7	5.8	0.8	2.9	

4 認知症に対する不安（本人自身）

(1) 認知症に対する不安（本人自身）

認知症になったとしたら、どのようなことに不安を感じるか聞いたところ、「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」を挙げた者の割合が74.9%と最も高く、以下、「買い物や料理,車の運転など,これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」(56.8%),「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」(56.5%),「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」(55.8%)などの順となっている。(複数回答,上位4項目)

都市規模別に見ると、「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」を挙げた者の割合は中都市で高くなっている。

性別に見ると、「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」,「買い物や料理,車の運転など,これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」を挙げた者の割合は女性で高くなっている。

年齢別に見ると、「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」を挙げた者の割合は40歳代,50歳代で,「買い物や料理,車の運転など,これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」,「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」を挙げた者の割合は30歳代,40歳代で,「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」を挙げた者の割合は20歳代から40歳代で,それぞれ高くなっている。(図5,表5)

図5 認知症に対する不安（本人自身）

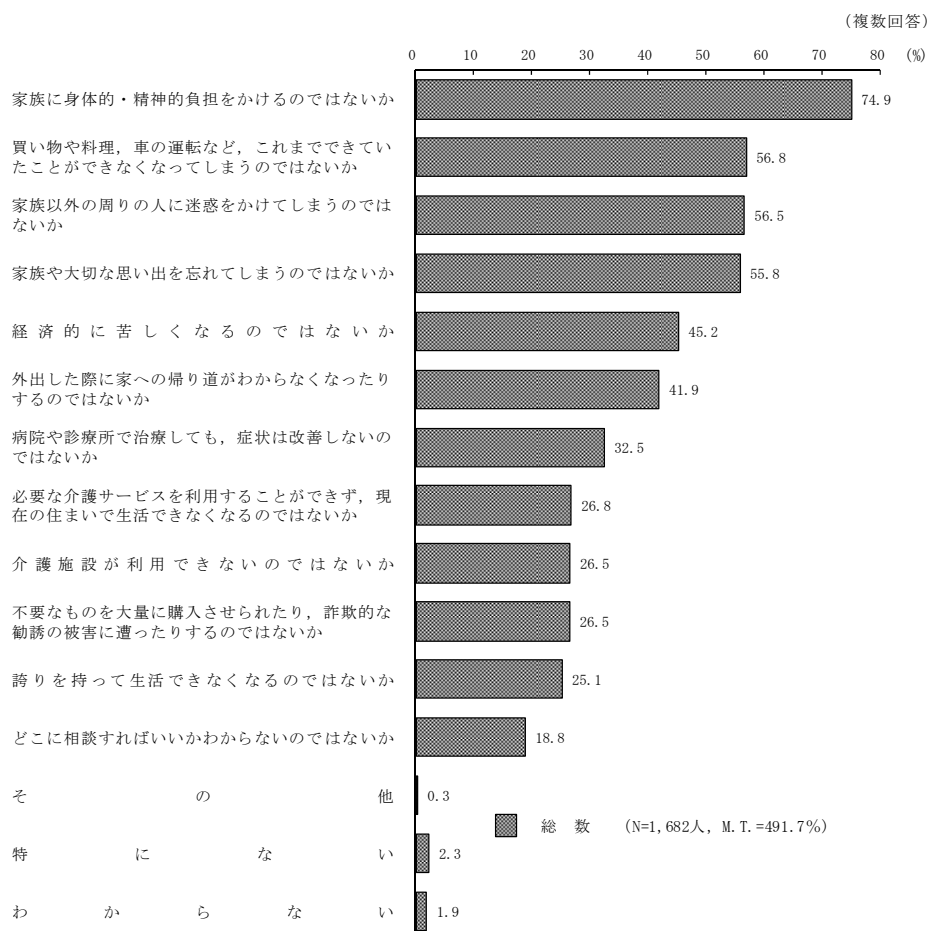


表5 認知症に対する

	該 当 者 数	家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか	買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなっているか	家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまっているか	家族や大切な思い出を忘れてしまっているか	経済的に苦しくなるのではないか	外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないか
	人	%	%	%	%	%	%
〔総規模〕	1,682	74.9	56.8	56.5	55.8	45.2	41.9
〔大都市圏〕	392	73.0	54.1	58.2	56.9	47.4	37.8
〔東京都〕	84	69.0	58.3	59.5	59.5	52.4	35.7
〔政令指定都市〕	308	74.0	52.9	57.8	56.2	46.1	38.3
〔中核都市〕	698	78.2	58.0	55.3	56.9	46.8	42.8
〔小都市〕	421	74.3	57.2	58.0	55.3	42.3	44.9
〔町村〕	171	67.3	57.3	54.4	49.7	40.4	39.8
〔性別〕							
〔男性〕	774	72.0	52.3	54.1	53.4	47.3	36.8
〔女性〕	908	77.4	60.7	58.6	57.8	43.4	46.1
〔年齢〕							
20～29歳	139	79.9	54.0	61.9	76.3	47.5	41.7
30～39歳	197	78.7	63.5	68.5	67.0	52.8	49.2
40～49歳	305	82.3	63.3	64.9	64.9	58.7	49.5
50～59歳	255	81.2	55.7	59.2	55.3	50.6	40.8
60～69歳	403	74.4	57.1	53.1	50.1	39.7	39.0
70歳以上	383	61.6	49.9	43.6	41.5	31.9	35.8
〔従業上の地位〕							
〔雇用者〕	772	80.2	59.8	64.1	61.5	52.8	44.8
〔自営業者〕	191	71.7	52.4	53.4	55.0	47.1	43.5
〔家族従業者〕	32	84.4	87.5	65.6	50.0	50.0	43.8
〔主婦〕	687	69.4	53.3	48.5	49.8	35.8	38.0
〔主夫〕	382	76.4	58.4	50.8	55.0	37.4	42.9
〔その他無職〕	29	62.1	48.3	55.2	41.4	37.9	20.7
〔その他無職〕	276	60.5	46.7	44.6	43.5	33.3	33.0
〔職業〕							
〔管理・専門技術・事務職〕	400	84.5	58.8	66.8	59.8	55.5	46.5
〔管理職〕	46	84.8	52.2	67.4	47.8	39.1	32.6
〔専門・技術職〕	143	88.1	62.2	67.8	62.2	55.9	53.8
〔事務職〕	211	82.0	57.8	65.9	60.7	58.8	44.5
〔販売・サービス・保安職〕	294	77.6	60.2	62.9	61.6	51.0	44.9
〔農林漁業職〕	61	67.2	60.7	45.9	42.6	49.2	47.5
〔生産・輸送・建設・労務職〕	240	73.3	58.8	57.5	62.5	46.7	40.0

不安（本人自身）

（複数回答）

善病 院や 診療 所で 治療 して も、 症状 は改 善し ない のか	必要 な介 護サ ービ スを 利用 する こと が でき ない のか	介 護 施 設 が 利 用 で き な い の か	不 要 な もの を大 量に 購入 させ られ たり す るの では ない か	誇 りか を持 って 生活 でき なくな るの では ない か	ど こに 相談 すれば いい かわ からない の か	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
32.5	26.8	26.5	26.5	25.1	18.8	0.3	2.3	1.9	491.7
33.7	29.6	26.0	26.5	24.2	21.2	-	2.6	1.3	492.3
36.9	36.9	33.3	28.6	25.0	20.2	-	6.0	-	521.4
32.8	27.6	24.0	26.0	24.0	21.4	-	1.6	1.6	484.4
35.2	27.5	28.2	28.4	27.1	17.9	0.3	2.3	2.1	507.2
31.1	25.2	25.7	25.4	26.4	20.2	0.5	2.6	1.7	490.7
21.6	21.1	22.8	21.1	16.4	14.0	0.6	0.6	2.9	429.8
30.6	25.1	24.7	25.5	24.5	18.6	0.4	2.6	2.6	470.4
34.0	28.2	28.1	27.3	25.7	19.1	0.2	2.0	1.3	509.9
33.1	21.6	18.0	30.9	20.1	17.3	-	2.2	0.7	505.0
29.9	25.9	26.4	31.5	18.8	24.4	-	0.5	3.0	540.1
38.4	28.9	26.6	33.8	23.9	19.7	-	0.7	0.3	555.7
36.5	30.6	30.6	26.7	27.1	17.6	0.4	0.8	0.8	513.7
30.0	27.5	30.3	22.1	29.8	18.1	0.5	1.0	2.5	475.2
28.7	24.0	23.0	20.9	25.1	17.5	0.5	6.8	3.1	413.8
32.8	25.4	27.2	29.7	24.2	18.5	0.4	0.9	1.4	523.8
30.9	28.8	26.7	24.1	30.4	18.3	0.5	3.7	1.6	488.0
31.3	59.4	37.5	28.1	25.0	31.3	-	-	-	593.8
32.6	26.2	25.2	23.4	24.7	18.8	0.1	3.5	2.6	452.0
37.7	28.8	29.1	25.7	27.5	20.7	0.3	2.4	2.1	495.0
24.1	17.2	31.0	24.1	24.1	20.7	-	-	3.4	410.3
26.4	23.6	19.2	20.3	21.0	15.9	-	5.4	3.3	396.7
33.0	29.0	27.5	32.3	27.8	18.0	0.3	1.0	1.0	541.5
34.8	21.7	28.3	32.6	23.9	10.9	2.2	-	2.2	480.4
30.1	32.2	23.8	35.7	30.1	15.4	-	0.7	1.4	559.4
34.6	28.4	29.9	29.9	27.0	21.3	-	1.4	0.5	542.7
32.0	25.5	29.3	27.6	25.5	19.4	0.3	1.0	1.4	520.1
27.9	24.6	18.0	24.6	21.3	9.8	-	3.3	-	442.6
32.9	26.7	27.5	24.6	22.5	22.1	0.8	2.1	2.5	500.4

5 認知症に対する不安（家族）

（1）認知症に対する不安（家族）

家族が認知症になったとしたら、どのようなことに不安を感じると思うか聞いたところ、「ストレスや精神的負担が大きいのではないか」を挙げた者の割合が62.5%と最も高く、以下、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」（51.4%）、「経済的負担が大きいのではないか」（49.9%）などの順となっている。（複数回答，上位3項目）（図6，表6）

図6 認知症に対する不安（家族）

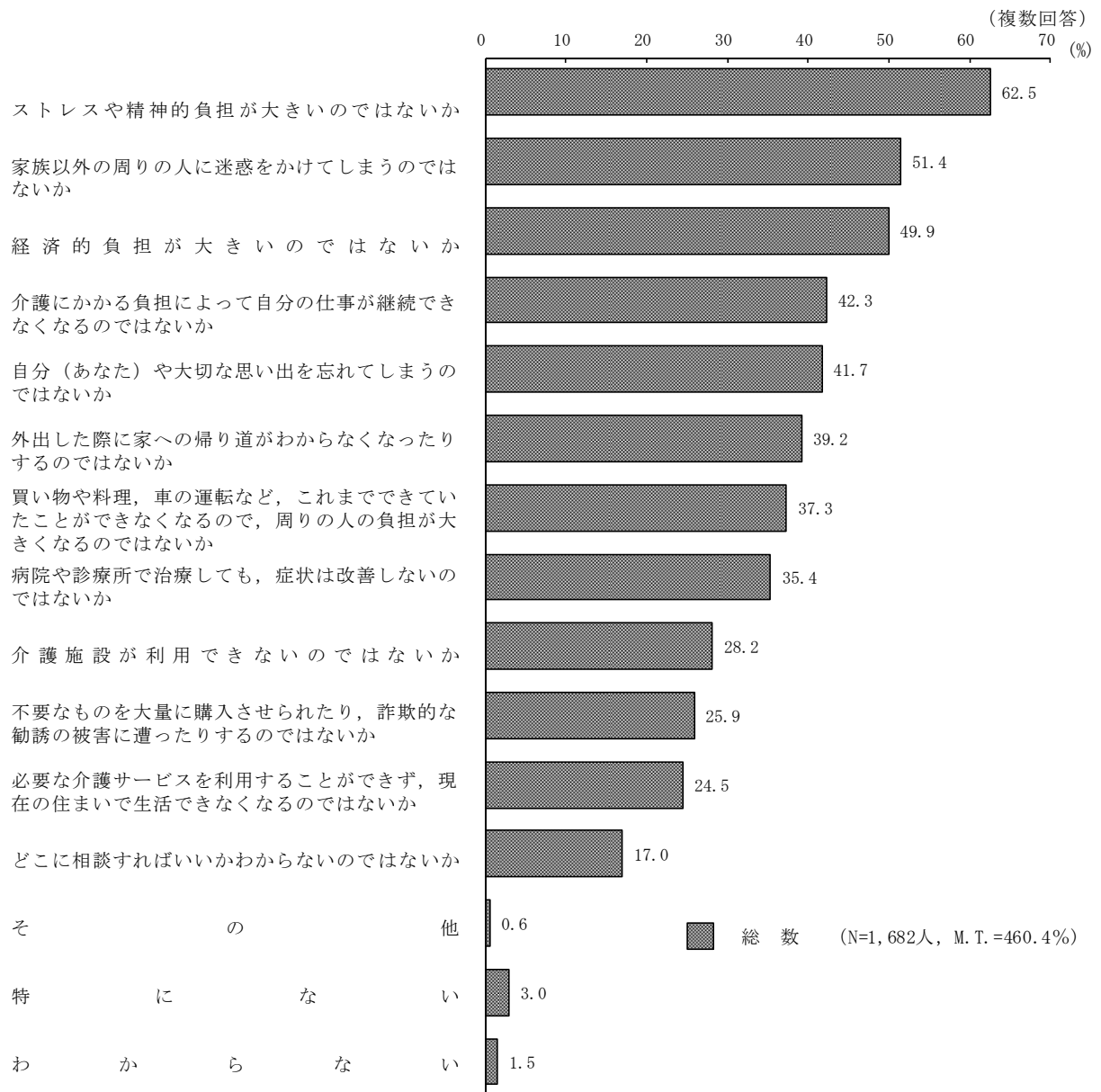


表6 認知症に対する

	該 当 者 数	い か か ス ト レ ス や 精 神 的 負 担 が 大 き い の で は な い か	う か か 家 族 以 外 の 周 り の 人 に 迷 惑 を か け て し ま う か	経 済 的 負 担 が 大 き い の で は な い か	介 護 に か か る 負 担 に よ つ て 自 分 の 仕 事 が 継 続 で き な く な る の で は な い か	し ま う の で は な い か 自 分 （ あ な た ） や 大 切 な 思 い 出 を 忘 れ て	な つ た り す る に 家 へ の 帰 り 道 が わ か ら な く
	人	%	%	%	%	%	%
総 〔都 市 規 数 模〕	1,682	62.5	51.4	49.9	42.3	41.7	39.2
大 都 市 部 市	392	62.5	52.3	52.0	42.9	44.4	40.6
東 京 都 区 市	84	69.0	48.8	56.0	45.2	42.9	36.9
政 令 指 定 都 市	308	60.7	53.2	51.0	42.2	44.8	41.6
中 小 都 市 市	698	63.6	53.0	50.7	44.1	42.3	38.7
町 都 市 村	421	61.8	51.5	47.3	38.0	41.8	38.0
〔 性 〕	171	60.2	42.7	48.5	43.9	32.7	40.9
男 性	774	60.6	50.8	48.6	43.7	41.6	38.0
女 性	908	64.2	52.0	51.1	41.1	41.7	40.2
〔年 齢〕							
20 ～ 29 歳	139	66.9	57.6	51.8	46.8	65.5	48.2
30 ～ 39 歳	197	70.1	55.8	54.8	57.9	47.2	42.1
40 ～ 49 歳	305	70.5	59.0	58.0	60.7	50.2	45.6
50 ～ 59 歳	255	67.8	57.6	55.3	57.3	39.2	40.0
60 ～ 69 歳	403	63.3	48.6	45.7	31.3	36.2	36.2
70 歳 以 上	383	46.5	39.7	41.3	19.6	30.8	31.9
〔従 業 上 の 地 位〕							
雇 用 者	772	68.4	57.1	54.4	59.2	45.2	42.5
自 営 業 主	191	59.2	44.0	48.7	42.4	36.1	33.5
家 族 従 業 者	32	71.9	71.9	56.3	56.3	43.8	37.5
無 職	687	56.5	46.1	45.0	22.6	39.2	37.1
主 婦	382	61.5	47.4	47.6	24.9	40.8	40.3
主 夫	29	48.3	48.3	44.8	13.8	41.4	20.7
そ の 他 の 無 職	276	50.4	44.2	41.3	20.3	36.6	34.4
〔職 業〕							
管 理 ・ 専 門 技 術 ・ 事 務 職	400	71.3	58.3	55.5	62.3	45.8	42.0
管 理 職	46	73.9	65.2	47.8	65.2	32.6	37.0
専 門 ・ 技 術 職	143	74.1	62.9	60.1	67.1	51.0	44.8
事 務 職	211	68.7	53.6	54.0	58.3	45.0	41.2
販 売 ・ サ ー ビ ス ・ 保 安 職	294	65.3	54.4	54.1	51.4	41.8	40.8
農 林 漁 業 職	61	45.9	39.3	49.2	45.9	29.5	32.8
生 産 ・ 輸 送 ・ 建 設 ・ 労 務 職	240	66.3	54.6	50.0	53.3	45.0	40.0

不安 (家族)

(複数回答)

り で の 人 の 負 担 が 大 き く な る の で は な い か	買 い 物 や 料 理 、 車 の 運 転 な ど 、 こ れ ま で	し 病 院 や 診 療 所 で 治 療 し て も 、 症 状 は 改 善 し な い の で は な い か	介 護 施 設 が 利 用 で き な い の で は な い か	詐 欺 的 な 勧 誘 の 被 害 に 遭 つ た り す る の で は な い か	不 要 な もの を 大 量 に 購 入 さ せ ら れ た り 、	の で は な い か	必 要 な 介 護 サ ー ビ ス を 利 用 す る こ と が で き な く な る	ど こ に 相 談 す れ ば い い か わ か ら な い の で は な い か	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
37.3	35.4	28.2	25.9	24.5	17.0	0.6	3.0	1.5	460.4			
36.0	38.3	31.1	28.1	29.6	18.6	0.5	3.1	0.5	480.4			
34.5	29.8	39.3	23.8	32.1	16.7	2.4	3.6	-	481.0			
36.4	40.6	28.9	29.2	28.9	19.2	-	2.9	0.6	480.2			
38.0	36.1	29.8	26.5	24.5	16.5	0.6	3.4	2.0	469.8			
36.3	31.6	22.8	25.4	20.2	16.9	0.7	3.3	1.2	436.8			
40.4	35.1	28.1	19.3	23.4	15.8	0.6	-	2.9	434.5			
37.3	36.0	25.1	25.2	25.1	16.3	0.6	3.0	1.4	453.2			
37.3	34.8	30.8	26.4	24.0	17.6	0.6	3.0	1.7	466.5			
33.1	41.0	23.7	33.1	23.0	23.7	-	0.7	-	515.1			
42.1	37.1	26.9	36.5	22.3	19.3	-	1.0	1.0	514.2			
43.0	35.1	27.5	33.4	26.9	15.7	0.3	1.6	-	527.5			
38.8	40.0	30.2	27.1	24.3	16.9	0.4	1.6	0.8	497.3			
34.5	35.5	30.5	22.1	24.8	16.1	1.0	1.0	1.7	428.5			
33.9	29.5	27.2	14.9	24.0	15.4	1.0	8.9	3.9	368.4			
40.8	37.4	26.9	31.6	25.0	18.4	0.3	0.9	1.0	509.2			
37.7	31.4	22.5	20.4	22.0	13.1	1.6	4.7	-	417.3			
40.6	37.5	34.4	21.9	40.6	21.9	-	3.1	-	537.5			
33.2	34.1	30.9	21.1	23.9	16.3	0.7	4.8	2.6	414.0			
35.1	40.1	36.6	23.8	25.9	16.5	0.5	2.9	1.8	445.8			
37.9	24.1	13.8	17.2	10.3	20.7	-	3.4	3.4	348.3			
30.1	26.8	24.6	17.8	22.5	15.6	1.1	7.6	3.6	376.8			
40.8	34.0	28.0	35.8	26.3	18.8	0.3	1.0	0.5	520.3			
34.8	32.6	32.6	34.8	26.1	8.7	-	-	-	491.3			
45.5	28.0	24.5	35.0	21.7	16.1	0.7	0.7	0.7	532.9			
38.9	38.4	29.4	36.5	29.4	22.7	-	1.4	0.5	518.0			
38.1	35.4	24.5	25.5	24.1	15.3	0.7	2.4	0.7	474.5			
49.2	31.1	18.0	16.4	23.0	13.1	1.6	3.3	1.6	400.0			
39.6	42.5	27.9	25.8	24.2	19.2	0.4	1.7	1.3	491.7			

6 国や自治体に求める認知症施策

(1) 国や自治体に求める認知症施策

認知症の人は現在の約 500 万人から、2025 年には約 700 万人に増えることが見込まれているが、今後、増加が予想される認知症の人への取り組みとして、国や自治体はどのような施策に重点を置くべきだと思うか聞いたところ、「認知症の人が利用できる介護施設の充実」を挙げた者の割合が 62.2%、「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」を挙げた者の割合が 61.2%、「家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み」を挙げた者の割合が 60.3%、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実」を挙げた者の割合が 57.9%、「認知症を治せる薬や治療法の研究・開発の促進」を挙げた者の割合が 55.2%、「家族の仕事と介護の両立支援などを含めた、経済的負担を減らす取り組み」を挙げた者の割合が 53.2%、「認知症の予防法の研究・開発の促進」を挙げた者の割合が 50.1%などの順となっている。(複数回答, 上位 7 項目)

性別に見ると、「認知症の人が利用できる介護施設の充実」、「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」、「家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み」を挙げた者の割合は女性で高くなっている。

年齢別に見ると、「認知症の人が利用できる介護施設の充実」、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実」、「認知症の予防法の研究・開発の促進」を挙げた者の割合は 50 歳代で、「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」を挙げた者の割合は 40 歳代で、「家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み」を挙げた者の割合は 40 歳代、50 歳代で、「認知症を治せる薬や治療法の研究・開発の促進」を挙げた者の割合は 30 歳代、40 歳代で、「家族の仕事と介護の両立支援などを含めた、経済的負担を減らす取り組み」を挙げた者の割合は 30 歳代から 50 歳代で、それぞれ高くなっている。(図 7, 表 7)

図7 国や自治体に求める認知症施策

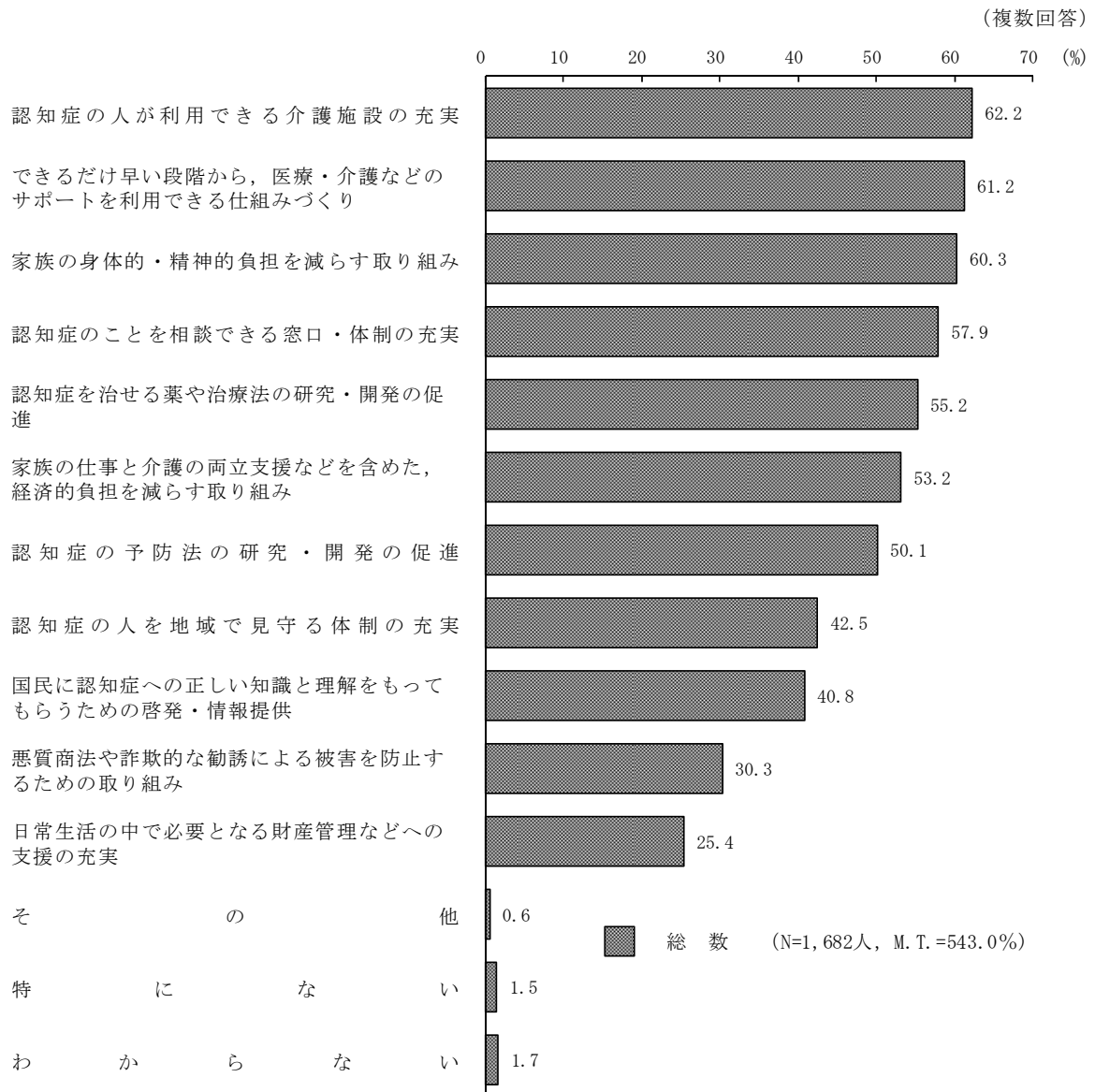


表7 国や自治体に

	該 当 者 数	認 知 症 の 人 が 利 用 で き る 介 護 施 設 の 充 実	ど の さ り だ け 早 い 段 階 か ら 、 医 療 ・ 介 護 な ど の サ ポ ー ト を 利 用 で き る 仕 組 み ・ づ く り	組 み 家 族 の 身 体 的 ・ 精 神 的 負 担 を 減 ら す 取 り	充 実 認 知 症 の こ と を 相 談 で き る 窓 口 ・ 体 制 の	の 認 知 症 を 治 せ る 薬 や 治 療 法 の 研 究 ・ 開 発	た 、 家 族 の 仕 事 と 介 護 の 両 立 支 援 な ど を 含 め た 、 経 済 的 負 担 を 減 ら す 取 り 組 み
	人	%	%	%	%	%	%
総数	1,682	62.2	61.2	60.3	57.9	55.2	53.2
〔都大東政〕	392	63.8	61.0	58.4	61.0	52.6	51.0
〔市中〕	84	58.3	57.1	63.1	61.9	46.4	51.2
〔政令指定都市〕	308	65.3	62.0	57.1	60.7	54.2	51.0
〔中小都市〕	698	62.9	61.2	62.5	56.2	55.7	54.7
〔町〕	421	61.3	61.0	59.4	59.6	58.7	53.4
〔村〕	171	58.5	62.6	57.9	53.8	50.9	50.9
〔性別〕							
〔男性〕	774	58.5	58.3	54.9	55.6	53.7	50.9
〔女性〕	908	65.4	63.8	64.9	59.9	56.5	55.1
〔年齢〕							
〔20～29歳〕	139	59.7	62.6	63.3	53.2	48.2	55.4
〔30～39歳〕	197	66.0	65.0	65.5	56.3	62.4	67.0
〔40～49歳〕	305	64.3	70.2	72.1	62.3	62.0	66.9
〔50～59歳〕	255	73.7	66.3	67.8	65.1	58.0	65.1
〔60～69歳〕	403	61.8	62.5	56.6	58.1	57.3	44.9
〔70歳以上〕	383	52.5	47.0	46.0	52.0	44.6	35.0
〔従業上の地位〕							
〔雇用上の地位〕	772	65.7	66.8	64.4	60.9	57.4	62.3
〔自家営業者〕	191	54.5	55.5	60.2	56.5	54.5	52.4
〔家族従業者〕	32	78.1	71.9	75.0	59.4	62.5	56.3
〔無職〕	687	59.8	56.0	55.0	54.9	52.7	42.9
〔主婦〕	382	64.1	60.2	60.2	58.4	55.8	47.4
〔主夫〕	29	65.5	44.8	37.9	44.8	34.5	34.5
〔その他無職〕	276	53.3	51.4	49.6	51.1	50.4	37.7
〔職業〕							
〔管理・専門技術・事務職〕	400	67.3	68.5	69.0	59.0	63.3	64.5
〔管理職〕	46	69.6	63.0	56.5	47.8	63.0	60.9
〔専門・技術職〕	143	67.8	72.7	71.3	60.8	64.3	66.4
〔事務職〕	211	66.4	66.8	70.1	60.2	62.6	64.0
〔販売・サービス・保安職〕	294	62.2	64.3	61.2	60.9	52.4	60.2
〔農林漁業職〕	61	55.7	60.7	63.9	55.7	47.5	52.5
〔生産・輸送・建設・労務職〕	240	62.5	60.4	58.8	61.7	54.6	55.0

求める認知症施策

(複数回答)

認知症の予防法の研究・開発の促進	認知症の人を地域で見守る体制の充実	も国民に認知症への正しい知識と理解をもつてもらうための啓発・情報提供	悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取り組み	日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実	その他	特	わ	計 (M. T.)
%	%	%	%	%	%	%	%	%
50.1	42.5	40.8	30.3	25.4	0.6	1.5	1.7	543.0
47.7	45.7	41.8	32.7	25.3	0.3	2.0	1.5	544.6
44.0	48.8	35.7	42.9	29.8	1.2	2.4	1.2	544.0
48.7	44.8	43.5	29.9	24.0	-	1.9	1.6	544.8
50.6	42.0	40.3	29.9	26.5	0.3	1.7	1.6	546.0
50.1	40.6	42.8	30.6	25.7	0.7	1.2	1.4	546.6
53.8	42.1	35.7	25.7	20.5	2.3	0.6	3.5	518.7
50.5	39.1	38.2	29.1	25.3	0.8	1.4	1.8	518.2
49.8	45.4	43.0	31.4	25.4	0.4	1.7	1.7	564.2
54.0	47.5	51.8	27.3	24.5	-	1.4	0.7	549.6
56.3	39.1	43.7	35.5	29.9	-	-	0.5	587.3
54.4	38.7	42.3	34.8	29.2	0.7	1.0	-	598.7
56.5	49.0	45.9	34.9	27.8	-	-	0.4	610.6
51.4	43.2	39.5	27.0	26.1	1.2	1.0	1.5	532.0
36.6	40.5	32.1	25.6	18.0	0.8	4.4	5.2	440.2
54.4	44.3	45.5	33.5	26.6	0.5	0.6	0.8	583.7
50.3	41.4	33.0	30.9	28.3	1.6	2.1	1.0	522.0
59.4	40.6	34.4	25.0	34.4	-	-	-	596.9
44.8	40.9	38.0	26.8	22.9	0.4	2.5	3.1	500.7
46.3	45.5	40.6	29.3	23.0	0.5	2.4	1.8	535.6
34.5	34.5	34.5	20.7	10.3	-	3.4	-	400.0
43.8	35.1	34.8	23.9	23.9	0.4	2.5	5.1	463.0
55.0	45.3	45.0	34.3	25.3	0.3	0.3	0.8	597.5
50.0	45.7	32.6	26.1	23.9	-	-	4.3	543.5
56.6	50.3	52.4	37.1	29.4	-	-	0.7	630.1
55.0	41.7	42.7	34.1	22.7	0.5	0.5	-	587.2
55.4	46.6	41.8	33.0	31.6	0.7	1.4	0.3	572.1
41.0	44.3	27.9	27.9	18.0	3.3	1.6	-	500.0
52.9	37.1	43.8	31.3	27.1	0.8	1.3	1.7	548.8

認知症に関する世論調査

平成 27 年 9 月

調査時期：平成 27 年 9 月 3 日から平成 27 年 9 月 13 日
調査対象：全国 20 歳以上の日本国籍を有する者 3,000 人
有効回収数（率）：1,682 人（56.1%）

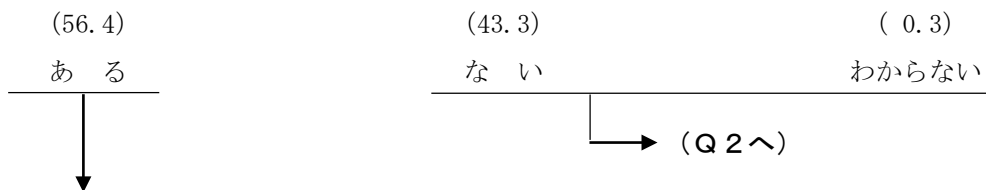
1. 認知症の人と接する機会の有無

【資料 1】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。

【資料 1】 認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったために今までできていたことができなくなり、一定期間継続して生活上の支障が出ている状態を指します。現在、65 歳以上の高齢者のうち、約 4 人に 1 人が認知症の人又はその予備群と言われています。

Q 1 あなたは今までに認知症の人と接したことがありますか。それともありませんか。

（注：ご自身が認知症であると言われた場合には、「ある」に○をする）



（Q 1 で「ある」と答えた方に）

S Q 【回答票 1】経験したことがあるものをこの中からいくつでもあげてください。（M. A.）

（注：ご自身が認知症であると言われた場合には、(ア)に○をする）

(N= 949)

- (43.5) (ア) 家族の中に認知症の人がいる (いた)
- (37.2) (イ) 親戚の中に認知症の人がいる (いた)
- (33.5) (ウ) 近所付き合いの中で、認知症の人と接したことがある
- (17.7) (エ) 医療・介護の現場で働いている (いた) ため、認知症の人と接したことがある
- (17.8) (オ) 医療・介護の現場以外の仕事を通じて、認知症の人と接したことがある
- (19.8) (カ) 街中などで、たまたま認知症の人を見かけたことがある
- (1.2) その他 ()
- (0.2) わからない

(M. T. =170.9)

2. 認知症に対するイメージ

(全員に)

Q2 【回答票2】あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。

- (6.8) (ア) 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる
- (33.5) (イ) 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける
- (35.9) (ウ) 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
- (7.6) (エ) 認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
- (10.9) (オ) 認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう
- (1.3) その他 ()
- (4.0) わからない

3. 認知症になった場合の暮らし

Q3 【回答票3】もし、あなたが認知症になったら、どのように暮らしたいと思いますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。

(注：既にご自身が認知症である場合には、「では、今後どのように暮らしたいと思いますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。」と読み替える)

- (13.4) (ア) 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい
- (30.3) (イ) 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい
- (20.2) (ウ) 認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい
- (27.5) (エ) 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい
- (4.6) (オ) 認知症になったら、誰にも迷惑をかけないよう、ひとりで暮らしていきたい
- (0.4) その他 ()
- (3.7) わからない

4. 認知症に対する不安（本人自身）

Q 4 【回答票 4】もし、あなたご自身が認知症になったとしたら、どのようなことに不安を感じると思いますか。特に不安とを感じるものをこの中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(注：既にご自身が認知症である場合には、「では、どのようなことに不安を感じていますか。特に不安とを感じるものをこの中からいくつでもあげてください。」と読み替える)

- (55.8) (ア) 家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか
- (56.8) (イ) 買い物や料理, 車の運転など, これまでできていたことができなくなってしまうのではないか
- (25.1) (ウ) 誇りを持って生活できなくなるのではないか
- (32.5) (エ) 病院や診療所で治療しても, 症状は改善しないのではないか
- (18.8) (オ) どこに相談すればいいかわからないのではないか
- (74.9) (カ) 家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか
- (45.2) (キ) 経済的に苦しくなるのではないか
- (26.8) (ク) 必要な介護サービスを利用することができず, 現在の住まいで生活できなくなるのではないか
- (26.5) (ケ) 介護施設が利用できないのではないか
- (41.9) (コ) 外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないか
- (26.5) (サ) 不要なものを大量に購入させられたり, 詐欺的な勧誘の被害に遭^あったりするのではないか
- (56.5) (シ) 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか
- (0.3) その他 ()
- (2.3) 特にない
- (1.9) わからない

(M. T. =491. 7)

5. 認知症に対する不安（家族）

Q 5 【回答票 5】もし、あなたのご家族が認知症になったとしたら、あなたはどのようなことに不安を感じると思いますか。特に不安と感じるものをこの中からいくつでもあげてください。

(M. A.)

(注：既にご家族に認知症の方がいる場合には、「では、ご家族の認知症について、あなたはどのようなことに不安を感じていますか。特に不安と感じるものをこの中からいくつでもあげてください。」と読み替える)

- (41.7) (ア) 自分（あなた）や大切な思い出を忘れてしまうのではないか
- (37.3) (イ) 買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなるので、周りの人の負担が大きくなるのではないか
- (35.4) (ウ) 病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか
- (17.0) (エ) どこに相談すればいいかわからないのではないか
- (62.5) (オ) ストレスや精神的負担が大きいのではないか
- (49.9) (カ) 経済的負担が大きいのではないか
- (42.3) (キ) 介護にかかる負担によって自分の仕事が継続できなくなるのではないか
- (24.5) (ク) 必要な介護サービスを利用することができず、現在の住まいで生活できなくなるのではないか
- (28.2) (ケ) 介護施設が利用できないのではないか
- (39.2) (コ) 外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないか
- (25.9) (サ) 不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭^あったりするのではないか
- (51.4) (シ) 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか
- (0.6) その他 ()
- (3.0) 特にない
- (1.5) わからない

(M. T. =460. 4)

6. 国や自治体に求める認知症施策

Q 6 【回答票 6】 認知症の人は現在の約 500 万人から、2025 年には約 700 万人に増えることが見込まれています。今後、増加が予想される認知症の人への取り組みとして、国や自治体はどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。特に重点を置くべきと思う施策をこの中からいくつかもあげてください。(M. A.)

- (40.8) (ア) 国民に認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供
- (57.9) (イ) 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実
- (61.2) (ウ) できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり
- (60.3) (エ) 家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み
- (53.2) (オ) 家族の仕事と介護の両立支援などを含めた、経済的負担を減らす取り組み
- (42.5) (カ) 認知症の人を地域で見守る体制の充実
- (25.4) (キ) 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実
- (30.3) (ク) 悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取り組み
- (62.2) (ケ) 認知症の人が利用できる介護施設の充実
- (50.1) (コ) 認知症の予防法の研究・開発の促進
- (55.2) (サ) 認知症を治せる薬や治療法の研究・開発の促進
- (0.6) その他 ()
- (1.5) 特にない
- (1.7) わからない

(M. T. =543. 0)